

白山山系 別山周辺

大平壁 (カラスノ谷)
岩屋俣谷川別山谷左俣
細谷川赤谷右俣

— 厳しくも充実した山行 —

酒井 正裕 記



ゴールデンウィークは、台湾の沢や白山の山スキーや沢登りで知られる青島 靖氏とともに、白山の南、別山周辺のルートを滑りました。1泊2日の山行でしたが、金沢へ来て是非滑ってみたいと考えていた別山・大平壁を始め、岩屋俣谷別山谷左俣、赤谷右俣など、厳しくも充実した山行ができました。

これらの谷は記録を見ないことから、いずれも本邦初滑降或いはそれに準じたものです。

第1日 大平壁 (カラスノ谷)

市ノ瀬～御舎利山～別山～尾上郷川標高1500m地点～三ノ峰避難小屋

早朝に市ノ瀬を出発し、チブリ尾根を登る。この尾根は全体的に広い尾根であり、淡々と登るだけである。標高1900m辺りまで登ると避難小屋に出る。この辺りからは、樹林の背丈も低くなり、前方に御舎利山から別山に至るスカイラインを指呼のうちに望むことができる。

ここからも、相変わらず広い尾根を登るが、標高2100m付近は特に広がっており、その上部に三角形の岩峰がある。

夏道どおりこの岩峰を右から巻くと、やがて御舎利山に着く。ここからは、稜線東側をたどること僅かで別山に着く。

別山頂上でスキーを履き、いよいよ大平壁の滑降に移る。出だしは、頂上から10m程東へ滑り、そこから一直線に大平壁に滑り込む。滑降斜面としては極めて急であり転倒は許されない。左斜面に逃げればスキーのグレードは下がるが、大平壁ではなくなってしまう。

私達の山行では、途中2箇所ばかり雪面にクレバスが走っていたが、上部のクレバスはその最も弱点と考えられる所を通過し、下部は右から回り込んでやり過ごす。

大平壁も、標高2100m辺りまで滑ると傾斜は緩くなり一息つける。ここからは、どこを滑ってもよいが、左の浅い谷に滑り込む。谷は、右へ一旦曲がるが、その後ほぼ真っ直ぐ1662mの標高点に続いている。谷は広く、テブリで荒れていない斜面は快適なスキー滑降ができた。その後も快適な滑降が続いたが、標高1500m付近で滝が出ていたので、稜線へ登り返すこととした。登り返しに辿った谷は、1662mの標高点から西に折れる稜線に達する谷であるが、この谷は稜線に大きな雪庇も出ておらず、体力的にはきついものの安全な登高ができた。辿り着いたところは別山と三ノ峰の最低鞍部であり、三ノ峰避難小屋まで実質的には時間はかからないのであるが、疲労の激しい私には遠い道程だった。

第2日 岩屋俣谷川別山谷左俣、細谷川赤谷右俣

三ノ峰避難小屋～別山谷滑降地点
～別山谷左俣1600m地点～チフリ
尾根2100m～赤谷1500m～チフリ
尾根2100m～市ノ瀬

三ノ峰避難小屋を発ち、2時間強で御舎利山に着く。当初、この北面を赤谷に向けて滑る予定だったが、視界がなく断念せざるを得なかった。仕方なく、別山と御舎利山の中間部まで戻りスキーを履き、別山谷を滑る。視界がないこと、滑降斜面が予想以上に急なこと、昨日より雪面が硬いことから、滑り出しは少し緊張する。

斜面は、最初は一旦右へ曲がるような感じで滑るが、幅が広いため快適な滑降である。標高1850m辺りを過ぎると、主にチフリ尾根側からのデブリや落石で谷の状況は一変する。何とかこれをやり過ごし、標高1600m辺りまで滑ると水流が出た。

当初から、下まで滑ることは叶わない谷と判っていたので、また登り返す。

今度はこの谷を標高1820mまで登り返し、ここから北に延びる枝沢を辿ってチフリ尾根に出る。このままチフリ尾根を滑って下山するのはつまらないので、今度は赤谷を滑ることにした。

チフリ尾根標高2100m付近から赤谷右俣の滑降を開始する。私達が滑り出しに決めた谷は、地図から想像できないくらいに広く、快適なスキー滑降が楽しめた。

僅かな時間で赤谷右俣出合に着いた。赤谷の上部は雲に隠れて見えないが、下部は斜面が広くデブリで荒れていない。

暫く快適な滑降を続けると、やがて谷は傾斜を増してきた。標高1900m付近は主に右岸からの落石で多数の石が散乱していたが難なく滑りきる。二俣で左俣に水流が

出ていることを確認し、なおも滑るが、標高1500m付近で水流が谷全体に出ており、滑降不能と判断せざるを得なかった。この先、別当出合まで長い道程であるので、滑ったところを忠実に戻るしかなかった。チフリ尾根標高2100m地点まで戻った後、標高1700mまでスキーでチフリ尾根を滑る。それ程面白くはないが、登り返しが殆どないのでスキーの速さを実感した。

これ以降、雪は少なくなるので、スキーを担いで市ノ瀬へ向かった。

【メンバー】

し 青島 靖 (チーム野良犬)、酒井 正裕

【コースタイム等】

1999年5月2日(土) 晴

市ノ瀬 (4:30) チフリ尾根避難小屋(8:40)

別山(11:50/12:10)カラスノ谷1500m地

点 (12:50) 三ノ峰と別山のコル(15:10)

三ノ峰避難小屋 (16:20)

5月3日(日) 曇り

三ノ峰避難小屋(6:40) 御舎利山(9:00/

9:50)別山谷滑降地点 (10:10) 別山谷

左俣1600m地点(10:45)チフリ尾根2100

m(12:35)赤谷1500m(13:15)チフリ尾根

2100m(16:10)チフリ尾根1700m(16:40)

市ノ瀬 (18:45)

【滑降距離等】

- ・別山大平壁 滑降高度差 約 900 m
滑降距離 約 2.5 km
滑降斜面の最大斜度 約43度
- ・別山谷左俣 滑降高度差 約 770 m
滑降距離 約 2.3 km
滑降斜面の最大斜度 約36度
- ・赤谷右俣 滑降高度差 約 770 m
滑降距離 約 2.2 km
滑降斜面の最大斜度 約20度

【山行適期】 4月中旬～5月上旬

【1/25000地図】 白山、二ノ峰、加賀市ノ瀬

ルート図 白山山系別山・大平壁、別山谷左俣、赤谷右俣

